

みせん

瀬戸内海国立公園
宮島地区パーク
ボランティアの会

発行日
平成16年 9月1日

◇ 目 次 ◇

- | | |
|--------------------|----------------|
| P2 瀬戸内海国立公園 70 周年 | P7 各登山道の町石マップ |
| P3 JPR包ヶ浦 | P8 「おおの自然観察の森」 |
| P4 特集 弥山登山道 | P9 海浜調査、編集後記 |
| P5 町石調査 | P10 事務局からの連絡事項 |
| P6 弥山町石一覧図 | PV 行事参加状況、行事予定 |

☆ ☆ ☆



☆ ☆ ☆ ☆

「ハンゲショウ」

ドクダミ科の多年草で高さ約60cm。
一年間の季節を24等分した中国伝来の暦の中に、7月初旬の気候を「半夏生」と呼んでいる。つまり梅雨が明け、田植えが終わる頃になると茎の頂に白色の葉を生じ、その葉腋に白色の穂状花が咲くことから名付けられたものである。

また白色の葉が緑色に変化すると、白い葉っぱが芽出すので別名「片白草」とも呼ばれる。

宮島のシカはハンゲショウとアセビを食べないので、宮島幼稚園前の道路から見下ろすと真っ白いじゅうたんを敷いた、お花畑のように見

える。いや抹茶氷に練乳ミルクをかけたようだと文学少女は語りながら、水色のハンカチで額の汗を拭っていた。

やがて急な坂道を下りると沼地があり、その沼の周辺には取り残されたホウロクイチゴの実が葉っぱの陰に隠れていた。

またハンゲショウが咲き乱れる沼地の先の浜辺には薄紫の花を咲かせたハマゴウが、夏の香りを漂わせていた。

(宮島小なきり浜にて)

「文・写真」

中道 勉

瀬戸内海国立公園指定70周年

記念のつどいに参加して 松 尾 健 司

昭和9年、日本で初めての国立公園に瀬戸内海が雲仙・霧島と共に指定されて70周年になることから、今年は行政や市民団体によるイベントや新聞・テレビによる国立公園や瀬戸内海の特集など数多くの取り組みがなされています。

5月末には環境省と岡山県・倉敷市の主催による記念式典等が倉敷で行われ、宮島PVもパネル展示で協力しましたが、2日間に亘る各種行事に代表で参加しました。

1、洋上セミナー 5/29 10:00~

児島港で遊覧船に乗り瀬戸内海の自然や歴史、水産資源などについて3人の講師から備讃瀬戸を周遊する間に話を聞きました。

2、シンポジウム 5/29 14:00~

山陽新聞社主催のシンポジウムが開かれ「水の世紀へ」と題した講演のあと「よみがえれ瀬戸内海」のパネルディスカッションで上嶋先生の環境保全教育、日生町のアマモ復活への取り組みなど興味深い活動について紹介されました。

3、出席関係者懇談会 5/29 18:00~

ホテルに戻ると夜は懇談会です。会場には歴代の環境省地区事務所長などがスーツ姿ですらり・・・私はいつものベストに腕章、登山靴！でも宮島PV発足時にお世話になった大橋所長さんに「君たちはそれが制服だろう」と言われ「宮島PVの頑張りや評判だよ」と誉めて頂き感激しました。歴代の関係者と宮島や大久野島の今昔について盛り上がり、とても楽しい懇談会でした。

4、交流発表会 5/30 早朝~

2日目が交流発表会で、これが本来の私の出番。鷺羽山の傍、せとうち児島ホテルを会場に約80団体が集まりパネル展示や意見発表などを行いました。

宮島PVはパネルで活動状況の概略を發

表し、パネル前のテーブルに写真や観察会のテキスト、創刊号からの「みせん」全部を展示しました。

展示団体一覧を見て気づいたことは広島県関係が一番多い・・・これは負けられないとばかり早朝5時に会場に入りパネルを貼り、あとから来る団体に片っ端から声をかけ交流と意見交換に努めました。

おかげで海洋冒険家堀江謙一さんの講演は聞き逃しましたが、大いに「広島に宮島パークボランティアあり」とアピールできたと思っています。

4、2日間参加して

会場の多くの人々が瀬戸内海的环境悪化を憂いつつも、その魅力を高く評価し、今後の産官学民の取り組みにより、更に美しく命豊かな姿を次代に伝えていくことが出来ると主張していました。

私がとても感銘を受けたことは、今回の行事を最初に発案し開催を呼びかけた人は行政関係者でなく、瀬戸内海を愛する一人の男性・私たちの仲間、パークボランティアという事実でした。

私たち宮島PVも大事な役割を果たして

いくことが出来ると思います。とても勇気づけられました。

参加団体の発表内容等については

「活動事例報告・提言集」に纏められており、宮島詰所にありますから、機会があればご覧ください。



宮島PVの活動状況を
紹介した展示パネル



包ヶ浦でJPR支援 海辺で環境学習

第1回

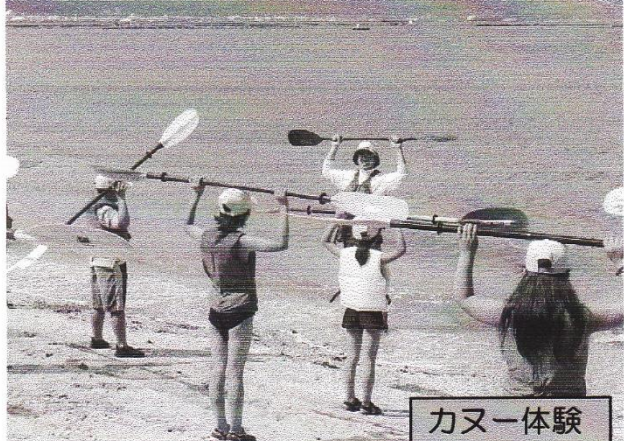
実施期日 平成 16 年 7 月 10~11 日
 場 所 宮島町包ヶ浦自然公園
 JPR 参加者 宮島町、大野町、廿日市市、戸
 河内町の 4 市町から計 37 名

活動内容

- 1、宮島口桟橋で受付及び班編成
 - 2、杉の浦公民館で開会式 宮島町長の歓迎
 挨拶 高木自然保護官より任命式に続き
 パークレンジャーの任務について説明
 - 3、カヌーの乗り方体験
 - 4、海岸ゴミの清掃活動
 - 5、漂着ゴミの内容分別と実態について
 - 6、干潟に住む生き物と海藻など収集
- 最後に意見交換をしながら今回の行事のまとめをしました。子どもたちは特にカヌーと干潟観察が楽しかったようで、生き生きと参加



歓迎挨拶の宮島町長と高木自然保護官



カヌー体験

「スタッフ」

環境省 門田利用指導官 尾崎技官
 高木自然保護官
 PV 名越 前田（勲）前田（正）
 宮崎 森川
 人間科学研究所 志賀所長 大滝
 宇宙船地球号の会 3 名
 カヌー指導員 3 名
 宮島水族館ボランティア 1 名
 カウンセラースタッフ 6 名

していたように思えました。

活動の狙いについては、干潟の生物観察を通してゴミが生物に及ぼす被害などを理解することが出来たし、また仲間づくりや漂着ゴミの清掃活動を通じて海への愛着を持つとともに、日常生活で心がけることを見つけることも出来たのではないかと思います。

今回から大学生のカウンセラーが 6 人つき今までと子どもたちへの対応が変わりましたが、一時夕立があったものの無事 2 日間の行事を終えました。（ 森川 記 ）



漂着ゴミの採集、分類

今後の J P R 活動計画

第 3 回 戸河内町 深入山 10 月 16、17 日
 内容 ○河川の生物調査と水質調査
 ○森と生き物の学習○クラブト他

弥山登山道の町石

過去と現在

～2年かけて実地調査～

岩崎 義一

昨年より弥山登山道の町石調査を実施してきましたが、6月の調査で一応の完了をみましたので、その内容を「みせん」紙上で2回に分けて報告します。

1、一斉調査日

第1回 平成15年1月13日 大聖院ルートの実地測量（参加6名 足立 池下 中道 村上 矢吹 岩崎）

第2回 平成15年9月23日 大元ルートから奥の院まで（参加9名 足立 池下 末原 中道 古川 森 森川 村上 岩崎）

☆その後、随時観察会等にて補足調査

☆故安井会員は石造物に造詣深く、町石調査にも多大なるご協力をいただきました、あらためて、ご冥福をお祈りいたします。

2、調査目的

弥山登山道にある「町石」は江戸期に建立されて以来、風水害や土石流によって流失や埋没し現在は不明なものも多い。

現存するものも、その都度整備がされた模様ではあるが、位置関係については適正でないものが見られる。

各時代の町石の所在を明らかにし（地図上にプロット）過去の文献資料により、その由来について調べる。また今後の整備の一助としたい。

3、調査内容

《町石の由来と建立時期》

町石は弥山参詣の登山道に建立され、距離を標示する石造物である。

大聖院道、紅葉谷道、大元道及び奥の院への登山道に現在計71基が確認された。

「慶長四年」（1599年）銘のものが最も古く（弥山道八丁）これは毛利輝元が大日堂を再建する際、参詣道整備に合わせて建てたものである。

仏像の付く町石は「元文三年」（1738年）の災害による登山道復旧工事等に伴い新たに建立されたもの。寄進者として「満足屋」の名が読める。

同様に明治39年伊藤博文による登山道整備のものは四角柱・丁名のための簡潔な形状で最も多く現存する。

また仏像の付く三角形の町石は、形態、図柄などから数種認められ、建立時期も様々で江戸期のどの時期なのか特定することができない。

大元道・奥の院・紅葉谷道の各町石については残念ながら詳細は判っていないが、奥の院への町石は形状から弥山道江戸期のものと同一かと推測される。



↑ 弥山道一丁町石
← 弥山道起点（大聖院下）

《 各登山道の町石の現状 》

弥山道には慶長期・江戸中期・元文期及び明治以降の町石が混在している。特に仁王門から本堂までの間は過去の資料にあるものの現在は見つけることが出来ないものが数基あり、度重なる災害などで流失または埋もれてしまっていると思われる。

○弥山道

A 慶長期 三角形仏像付 1基

最も古いとされるものは「慶長四年」(1599)銘の町石であるが、弥山道中ほどの祠まへの「八丁」のみの1基である。

B 元文期 四角柱仏像付 8基

仏像が付く町石がこれにあたり「一丁」「九丁」には元文三年(1738)「満足屋」寄進とある。

C 明治期以降 四角柱 20基

「一丁」から頂上「二十四丁」まで見られるが、年号はない。「二十四丁」は大正15年「皇太子殿下御展望跡」とある。

D 江戸中期後期と推定 三角形仏像付 9基 (以上小計 38基)

形態、刻字、仏像の図柄などから、さまざまな時期に建てられた模様である。

○大元道

2タイプ(四角柱・三角仏像付き) 21基

○奥の院

2タイプ(三角形仏像付) 6基

○紅葉谷道

1タイプ(四角柱) 6基

合計 71基

《 起点道標と距離 》

各登山道の起点の道標として

大聖院下に弥山道「是よりみせんみち 御山頂上へ 廿四丁廿四間」

紅葉谷入り口に「御山道頂上へ二十四丁半」

大元公園に「御山道御山頂上へ廿九丁」

一丁は距離 109mであるが、建立時期の異なる数種の町石は位置関係が前後しており、現状は等

間隔にはなっていない。

但し明治期のものは欠けるものがあるもののほぼ同間隔、正確な位置にある。

また計測の結果、弥山道起点から山頂まで 2,525m あり「廿四丁廿四間」とほぼ一致している。しかし江戸期には弥山道は「本堂まで登十八丁」で現在よりも短いルートがとられていた様である。

(以下次号に掲載)



↑ 奥の院 三十一丁
← 大元道 二十三町

※参考資料

P6 弥山町石一覧図

P7 現存町石マップ

◇ お知らせ ◇

次号発行日 12月 1日

原稿締切日 10月 末日

(会員の皆さんの投稿を
お待ちしております)

(広報部会)



弥山町石一覽図

(H463m) 十九丁
ロープ 天然記念物碑 ● ■
ウェイ駅

- 弥山道 元文
◇ " 慶長
▲ " 他 江戸
■ " 明治・大正
{ 紅葉谷道
大元道
△ { " 奥の院

(2,525m) 弥山頂上(H530m)

二十四丁 ■ ▲二十〇丁<毘沙門堂>
▲二十二丁
二十二丁 ■ ▲二十三丁<三鬼堂>

<本堂> ▲十七丁
<大日堂>

▲十八丁
□十八丁

(2,108) 二十丁

□十七丁
▲二十三丁
▲〇丁

十九丁 ■

奥の院 6 基
(H333m)

<仁王門>
(H423m)

十八丁 ■

△〇丁 二十四丁 二十六丁 三十一丁
〇丁 二十七丁

二十丁 十九丁
二十丁 二十一丁 二十丁 十九丁

十七丁 ■

□十五丁 (2,368)
(駒ヶ林分岐)

(1,577) 十五丁 ■ 遊女石畳 (長さ 101m)
□十二丁

十四丁 ■

十三丁 ■

十二丁 ■

幕岩(H301m)

□十丁

十一丁 ■ 10 号堰堤

十一丁 ■

〇丁 ■ 9 号

(1,051) 十丁 ■

□九丁 賽河原(H260m)

八丁 ■ 8 号 ●海軍省碑

□八丁

◇八丁

七丁 ■ 里見茶屋(H166m)

▲六丁

六丁 ■

(535m) 五丁 ■

四丁 ■

四丁 ■ 4 号

三丁 ■ 3 号

三丁 ■ 2 号堰堤

二丁 ■

一丁 ■

□一丁

(起点)

(0 m) (起点)

(起点) (0 m)

紅葉谷道

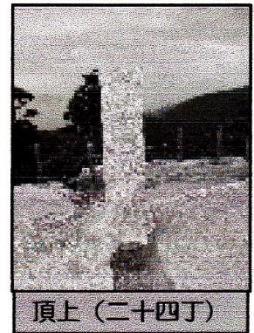
弥山道 (大聖院)

大元道

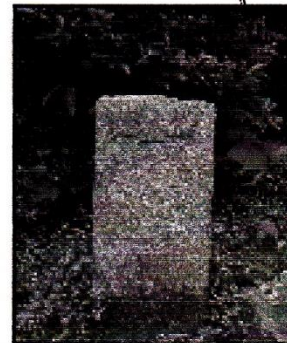
「頂上へ二十四丁半」
(6 基)

「御山頂上へ廿四丁廿四間」
(38 基)

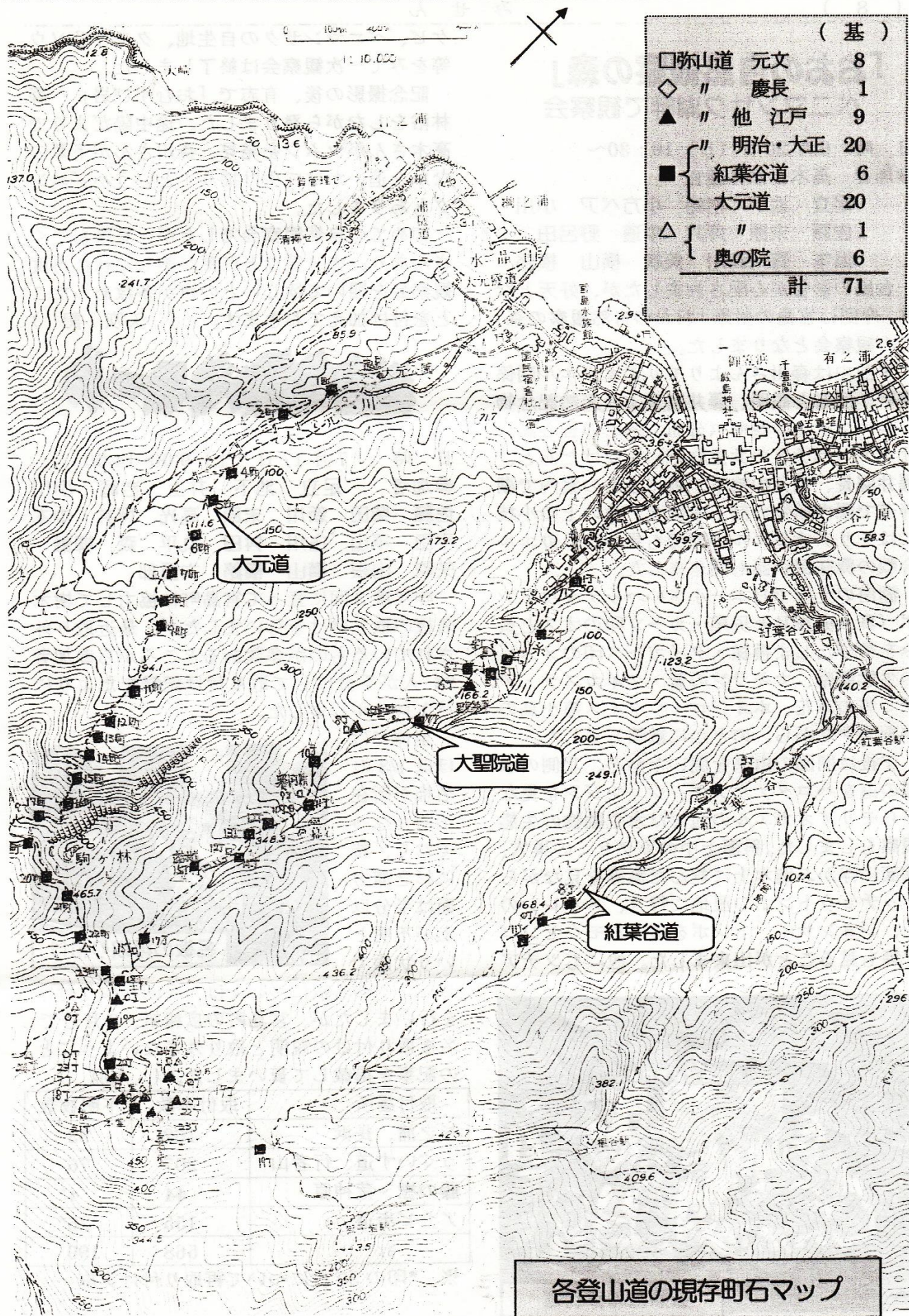
「御山頂上へ二十九丁」
(21 基)



頂上 (二十四丁)



弥山道八丁 慶長



「おおの自然観察の森」 ベニマンサク湖畔で観察会

日 時 6月20日(日) 10:30~

参加者 高木自然保護官

足立 池下 岩崎 小方ペア 小川

佐藤 末原 坪井 中道 野呂田

浜本 森 森川 矢吹 横山 横路

台風の影響が心配されましたが、好天となり、今回は宮島の対岸「おおの自然観察の森」での観察会となりました。

午前中は森川さんよりモリアオガエル関係資料の配布と説明、藤井園長より天然記念物ベニマンサクの説明(分布、栽培の苦心談、オナゴコバチとの共生など)を受けたあと、藤井園長、地元の池下、森川さんの案内で湖畔道で園内植物の話しを聞き、池の上の小枝にはモリアオガエルの卵塊も見られ、カエル合戦の興味深い話も聞きました。

湖南の土手で日本一小さいハッチョウトンボ(真っ赤な目と尻尾・カープ印のオスと黄みを帯びたしま模様・タイガース印のメス)の生態観察、カキランの蕾・スイカズラ・アザミ等の草花、ホオジロ・ウグイス等小鳥の声を聞きながら、のどかに散策しました。

午後は開園の由来を聞いたあと、北側の水辺の道をハコダテウツギ、ツニンジンを見ながらモリアオガエルの池では水生動物の生態観察もしました。斜面土中のカワセミの巣穴、湖面に浮かぶ倒木上に並んだ亀等を見ながらハッチョウトンボの湿地に行き、スイレンの花、ジュンサイ、トンボを獲ったモウセンゴケ等も見ることが出来ました。他にもツチア



観察会の参加者

ケビ、ベニマンサクの自生地、クモキリソウ等をみて一次観察会は終了しました。

記念撮影の後、有志で「おむすび岩」へ森林浴をしながら登りました。途中陽だまりで高木さんがマムシを発見、森川さんが下草のなかを追いかけて生け捕り!というハプニングもありました。

初めての自然観察会でしたが、見所もたくさんあり、赤・黄など紅葉が美しい秋に再度観察会を開いて欲しいとの声が多数あったことを付け加えておきます。(矢吹 記)



日 時 7月17日(土) 9:00~14:00

参加者 足立 池下 井上 岩崎 小川
佐藤 柴田 新川 末原 高光 坪井 中本
平田 平山 古川 舩田 丸平 森 柳瀬
矢吹 山根 横山 横路 六重部

昨年度3回に亘って宮島町に協力して樹木名板の取り付けを行いました。最近取り外されているものが多数あるところから参加者24人が手分けして取り付け記録をたよりにパトロールしました。

全体ではほぼ1/3の名板が所在不明となっており、特に杉之浦方面は半分以上が不明という状態で



名板の再取り付け

した。一部名板については、今回再取り付けを行いました。宮島町の広報紙、8月号で名板取り付けの説明と取り外さないようにとの記事を掲載して貰いました。(末原)

取付場所	取付本数	不明枚数
杉之浦、長浜	162	93
うぐいす道、行者山	207	76
藤の棚~荒神原	44	4*
アセビ歩道	155	26*
計	568	199

※ *印の30枚について再取り付け実施

海岸植物群落調査

◇宮島地区 12 箇所を担当◇

日 時 5 月 29 日 (土) 9:00 詰所集合

場 所 小なきり浜、長浜、杉之浦、包ヶ浦

参加者 足立 岩崎 小方(嗣) 小川 佐藤

新川 末原 高光 坪井 中道 西

野呂田 平山 前田(勲) 前田(正) 舛田

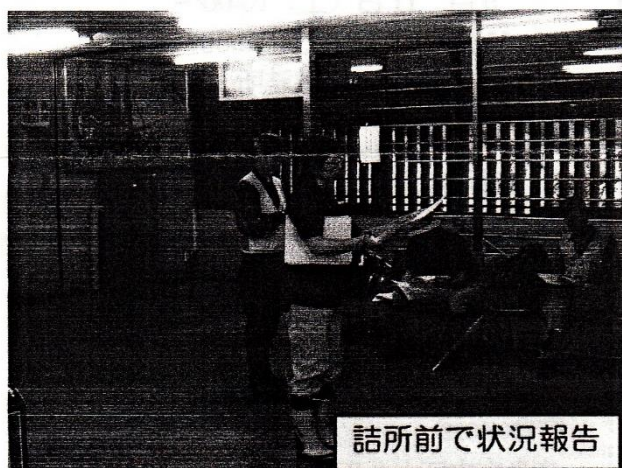
村上 矢吹 山根 横路 六重部

周囲を海に囲まれた日本に暮らす私たちにとって、海浜は懐かしいふるさとの風景の一つです。海水浴を楽しむ砂浜、カニと戯れる磯、波が砕け散る断崖、潮干狩りに繰り出す干潟など、多様な海辺の姿があります。

ここ宮島の海岸も多くの人々に親しまれてきました。

この度(財)日本自然保護協会では3年間で全国の海岸の植物調査を行うことになり、広島県では42ヶ所を選定し、その内宮島の海浜12ヶ所を宮島地区パークボランティアが担当することとなりました。

今日は、その第1回目として指定箇所ではないのですが、小なきり浜に全員集合し、調査実習をし、調査の考え方を統一してから新川・高光組は長浜、前田(勲)・舛田組は杉之浦、山根・六重部組は包ヶ浦へと3班に分かれて、天気予報通り降り出した雨の中で実施しました。



調査は雨中でも支障なく無事に終わり詰所に帰って各班ごと状況報告しました。宮島はシカが食べてしまうため、海岸植物の種類が少ないのは残念なことです。

次回は9月20日(祝)に行います。

尚全国の調査結果は年度ごとにホームページで発表され、3年後には集計結果報告書も発行されます、どれだけの海岸植物群落が残されているか楽しみです。(小方嗣彬 記)

第2回 海浜調査

9月20日(祝) 9:00 詰所集合

調査場所 檜木浦 腰細浦 入浜

いずれも遠隔地のため現地までは車を利用します。

車手配の都合がありますので参加者は事前に村上までメール、FAXまたは電話で連絡してください。

ハチクマの渡り観察会

(観察部会)

日 時 9月23日(祝) 10:00

場 所 弥山頂上広場に集合

講 師 近藤会員(フィールドスコープ持参)

悪天候 当日雨天(曇りでも)中止

9月26日(日)に延期

解 散 昼食後、現地で自由解散

観察は午後3時ごろまで出来ます

(頂上までの手段)

1、ロープウェイは9:00が始発です。

2、歩いて登山する人は宮島栈橋前ふじ棚に8:00集合してください。

◇ 編集後記 ◇

▼早いもので昨夏、会員の安井さんが不慮の災難で還らぬ人となって1年、先日一周忌を期に娘さんが宮島(ギャラリー宮郷)で安井さんの遺作展を開くことを知り、行ってきました。油絵の大作から水彩画、絵手紙、詩など多数の作品が展示されており、弥山に毎日のように登る、タフな安井さんのイメージが強烈だったため、こんなに多彩な趣味を持った才人だったのだと感動するとともに、今更ながら惜しい人を失ったという思いに駆られました。(足立)

◇ 事務局連絡事項 ◇

PV行事参加者一覧

NO	氏 名	①	②	③	④	⑤	⑥
1	足立 清	○	○		○		
2	池下 宏		○		○		
3	池田 靖夫					雨	
4	井上 軍				○		
5	岩崎 義一	○	○		○	天	
6	小方 為子		○				
7	小方 嗣彬	○	○			中	
8	小川 加代	○	○		○		
9	近藤 芳子					止	
10	佐渡 正幸						
11	佐藤 庸夫	○	○		○		
12	柴田 博				○		
13	島 千代喜						
14	新川 博	○			○		
15	末原 義秋	○	○		○		
16	高光 幸三	○			○		
17	竹内 栄太郎						
18	田村 博子						
19	坪井 正明	○	○		○		
20	中道 勉	○	○				○
21	中本 章治				○		
22	名越 正子			○			
23	西 喜三	○					
24	野呂田 恵子	○	○				
25	花見堂 英延						
26	浜本 良子		○				
27	東丸 久						
28	平田 広三郎				○		
29	平山 美知子	○			○		
30	佛崎 勝弘						
31	古川 義文				○		
32	本田 隆徳						
33	前田 勲	○		○			
34	前田 正人	○		○			
35	舩田 祐子	○			○		○
36	松尾 健司						○
37	丸平 健二				○		
38	宮崎 春雄			○			
39	村上 光春	○					
40	森 明彦		○		○		
41	森川 範吾		○	○			
42	柳瀬 佳史				○		
43	矢吹 浚一	○	○		○		
44	山根 浩二	○			○		
45	横山 忠司		○		○		
46	横路 晃	○	○		○		
47	吉田 ヒトミ						
48	六重部 篤志	○			○		
		21	17	5	24		3
	高木自然保護官		○	○			○

- ①観察会（海浜調査）再掲 5/29（土）
 ②おおの自然観察の森 6/20（日）
 ③JPR 活動・包ヶ浦 7/10.11（土、日）
 ④樹木名板パトロール 7/17（土）
 ⑤ 自然公園クリーンデイ 8/1（日）
 ⑥ JPR 大久野島 8/28.29（土、日）

◇ 行 事 予 定 ◇

- 自主観察会 海浜調査
 9/20（祝）9:00 詰所集合
 現地までの車手配のため参加者は村上まで連絡のこと
 ○野鳥観察会（ハチクマの渡り）
 9/23（祝）
 時間、場所等 P9 に詳細
 ○JPR 活動支援・戸河内、深入山
 10/16.17（土、日）
 ○公募観察会・歴史文化探訪
 10/17（日）
 ○もみじ谷公園歩道の補修、清掃
 10/30（土）
 ○公募観察会・植物
 11/23（祝）
 ○臨時総会・研修会
 11/27（土）

◇幹事会の開催予定◇

9月 11日（土）10:00～
 11月 13日（土）10:00～
 場所 宮島詰所

瀬戸内海国立公園

宮島地区 パークボランティアの会

事務局 環境省自然環境局
 広島自然保護官事務所

（〒730-0012）
 広島市中区上八丁堀6番30号
 広島合同庁舎2号館6階
 TEL/(082)223-7450・FAX(082)223-7451
 宮島詰所
 （〒739-0505）佐伯郡宮島町1862-18
 （ 宮島栈橋 2F ）